

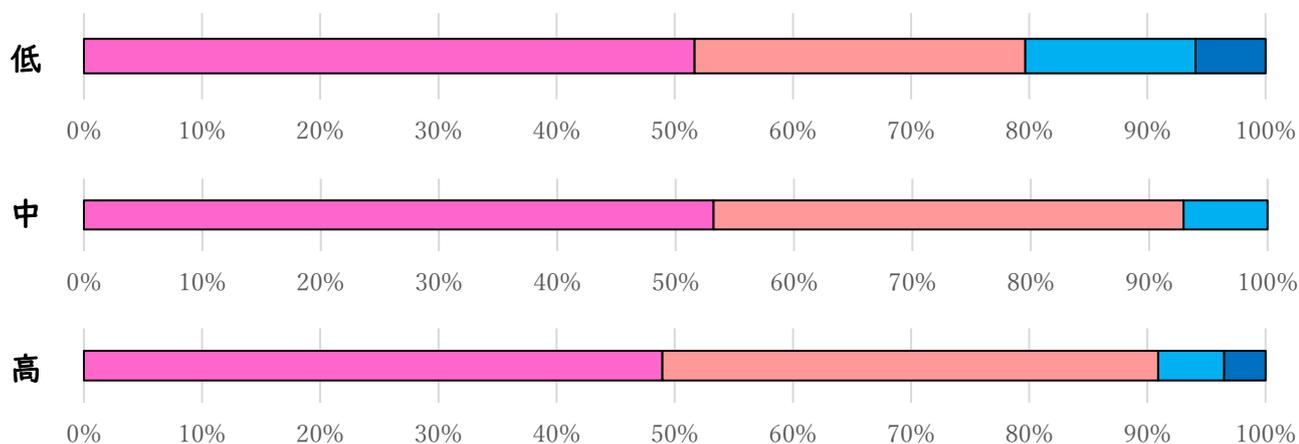
横浜市立山田小学校 学校評価報告書【令和5年度】

重点取組分野	令和5年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
【知】 授業改善	<p>①対話を大切にし、自分の意見を伝えたり、他の人の意見を聞いたりしながら、協働的に学ぶことにより、主体的に学んだり、多様な考えに気づいたりすることができるようにする。</p> <p>②重点研究テーマを「豊かな体験を通して、学びの充実をめざす」とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に、人やものと豊かに関わる力を育成する。</p>	<p>①低学年の少人数指導や、中学年以上の教科担任制により、各教科の教材研究が深まったが、低学年児童の20%、中・高学年児童の7%、保護者の20%が「授業があまり分からない」と回答している。「分かる」が減っている結果から、既習をいかして繰り返し学習したり、見通しと振り返りを大切にしたりと、今後も授業を工夫する必要がある。②生活科・総合的な時間について研究を深め、地域の人やものと関わる単元を構想し、協働的に学ぶことができた。</p>	B
【徳】 多様性の尊重	<p>①人権教育の充実を図り、年齢や性別、国籍や文化、障害の有無に関わらず、お互いを大切にすることを育てる。</p> <p>②縦割り活動等を通して、自他を認め合う心、思いやりの心を育てる。</p> <p>③家庭や地域と連携し、進んで挨拶ができるように、日常的にあいさつ運動に取り組む。</p> <p>④授業の中で「わかる」「できる」経験を増やし、自己肯定感を高められるようにしていく。</p>	<p>①日々の生活や人権週間、職員研修を通して、人権意識の向上を図ってきた。②縦割り活動を復活させた。児童アンケートの「人の気持ちを考えて行動している」の解答も昨年度より4%増え86%に伸びた。③地域とのかかわりも増えたので、継続してあいさつの大切さを実践しながら伝えていく。④「自分を大切だと思う」児童も昨年度より4%増え82%に伸びた。</p>	A
【体】 健康教育	<p>①体を動かす楽しさに気づき、運動時間を増やしたり、柔軟性や持久力を高めたりしていけるように、「ストレッチ集会」や「なわとび集会」を行う。</p> <p>②児童運動委員会や学校保健委員会の活動を通して、運動経験を増やしたり、生活習慣を整えたりすることが大切だと気付けるようにする。</p>	<p>①4年目となる「山田ストレッチ」については、ストレッチ集会を行ったり、体育の準備運動で継続的に取り組んだりすることで、慣れ親しむことができていた。</p> <p>②数年ぶりに「なわとび集会」を開催することができ、運動への動機づけができた。学校保健委員会では、「けがのない学校生活」を送るために話し合い、けがの予防に意識を向けることができた。</p>	B
【公開】 SDGsへの取組	<p>①学年に応じて、SDGsの5つのキーワードや17の目標について知ったり、関連団体とつながる機会を設定したりして、理解と実践を進める。</p> <p>②学校や地域で行われている活動をSDGsに関連付けてとらえられるようにする。</p> <p>③学んだことから自分たちにできることは何かを考え、行動に移していけるようにしていく。</p>	<p>①学年によって、教科の単元にSDGsの内容を絡め目標や活動への理解を深めた。</p> <p>②③6年のSDGsをテーマにした学習から児童の委員会活動の取り組みに派生させて全校に広がるようにし、日部の生活を考える機会を設定した。</p>	B
いじめへの対応	<p>①児童情報や学校のきまりを共通理解して指導にあたり、個に応じた指導についても共有する。</p> <p>②月1回の定期開催に加え必要に応じて直ちにいじめ防止対策委員会を開く。</p> <p>③いじめに関するアンケートを年2回以上行い、児童の様子や心情を把握したり教育相談を行ったりして解決に向けて力を尽くす。</p>	<p>①担任・学年・専任・養護教諭・管理職がチームで対応することができた。取り組み方については保護者や地域にも発信していった。②いじめへの対応会議を確実に開催し、以後の経過も含め、共通理解を図った。必要に応じて臨時に会を開き、組織的な対応をすることができた。③年に2回とるアンケート結果を把握し、教育相談を行い、必要な手立てを考えることができた。</p>	B
人材育成・組織運営(働き方)	<p>①中・高学年において教科分担を推進し、個々の専門性を高めていく。</p> <p>②生活科、総合的な学習の時間に重点を置き、単元作りや学習の進め方等について研修を行う。</p> <p>③メンターチームを組み、月に一度研修の時間を設定する。</p> <p>④学校だより、学年だよりの発信の仕方を見直し、作成にかかる時間を軽減していく。</p>	<p>①中・高学年において教科分担制を取り入れ、個々の専門性を高めていった。教材研究も効率よく行うことができた。②生活科、総合的な学習の時間に重点を置き、研修を行って授業改善に繋がった。③メンターチームを組み、月に一度研修を行った。④学年だよりを学校だよりに統合し、作成にかかる時間を軽減した。また、配信することでペーパーレス化を図った。</p>	A
児童指導	<p>①いじめ防止に向け、児童情報や学校のきまり、個に応じた指導について共通理解し、指導にあたる。</p> <p>②一人ひとりが大事にされる学級づくりのために、計画的に「YPアセスメントシート」を実施し児童の実態把握に努め、学級の課題に応じた社会的スキル横浜プログラムを実施する。</p>	<p>①いじめ防止やいじめがあった場合の対応の仕方について、職員間での共通理解できているが、保護者や地域にもっと取り組みについて発信していきたい。②アセスメントシートを利用して、横浜プログラムを計画的に実施し児童の実態把握に生かすことができた。</p>	B
地域連携	<p>①学校運営協議会やまちとともに歩む学校づくり懇話会等での意見交換の内容を反映させながら協働的に学校運営を行っていく。</p> <p>②ゲストティーチャー、アドバイザー等の形で専門の方を招き、地域の教育力を学校教育に生かしていく。</p> <p>③ホームページや学校だより、定期的な会合等で学校の様子を発信していく。</p>	<p>①学校運営協議会やまちとともに歩む学校づくり懇話会等での意見交換の内容を反映させながら、協働的に学校運営を行っていった。②総合的な学習の時間を中心に、専門の方を招き、その教育力を学校教育に生かしていった。また、児童の学習や活動の場を地域に広げて学習を行っていった。③ホームページや学校だより、定期的な会合等で学校の様子を発信していった。</p>	A
特別支援	<p>①一人ひとりの社会的ニーズに応じた学びの場を工夫し、インクルーシブ教育を取り入れていく。</p> <p>②関係諸機関との連携を進め、実践的な支援・指導につなげる。</p> <p>③全校TTの意識を共通理解し、実態に合った指導、環境整備など、多面的な支援体制の整備を行う。</p> <p>④個に応じた指導の形態を工夫する。</p>	<p>①③④個に応じた指導は、担任が中心に手立てを講じ、学年間でも協力して支援を行うことができた。ニーズに応じた特別支援教室での学習指導も行うことができた。指導の形態を持続していけるように、よりよい仕組みに改善していきたい。②外部機関と連携したり情報を共有したりすることで、日常の指導に生かすことができた。</p>	B

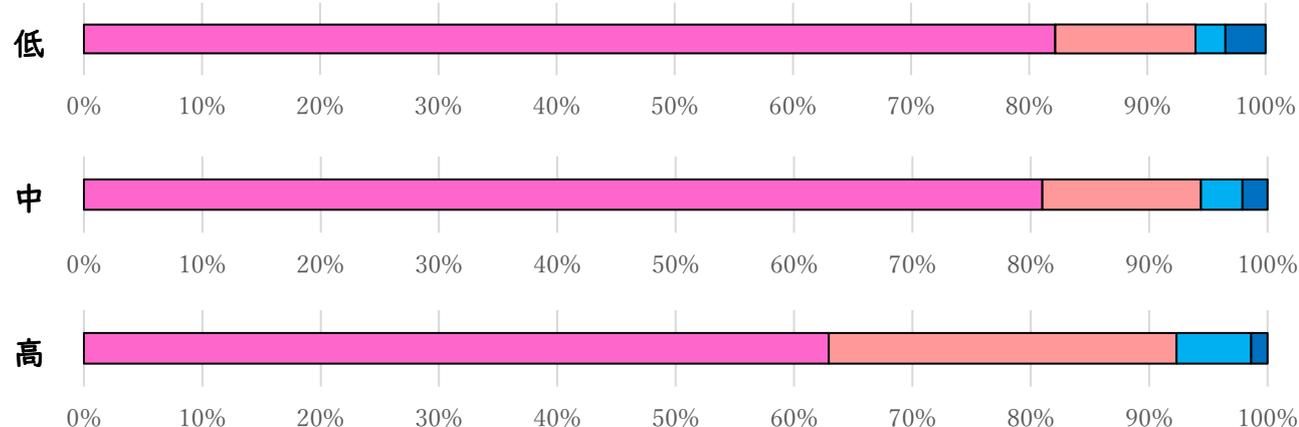
# 学校づくりに関する児童アンケートについて(結果報告)

思う      やや思う      あまり思わない      思わない

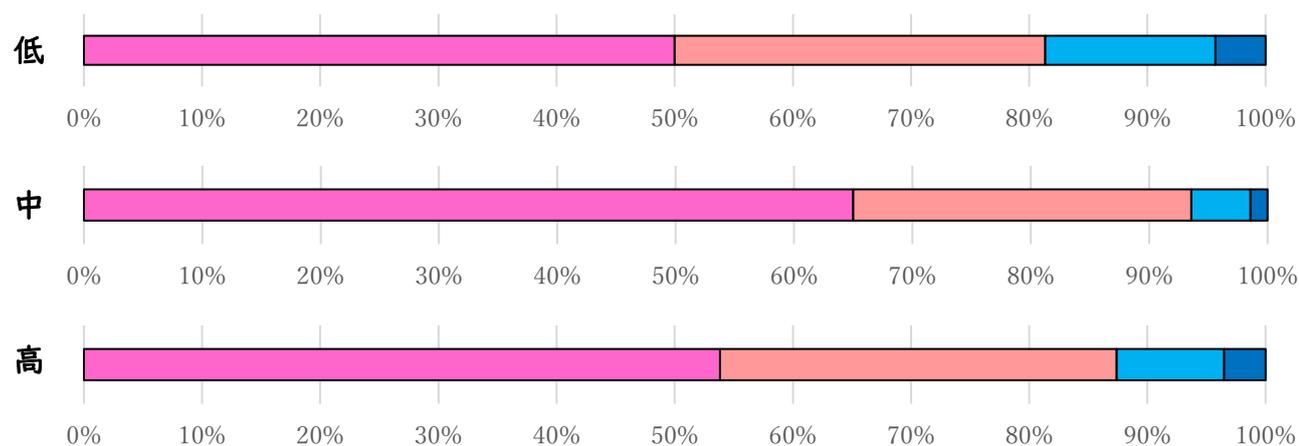
① わたしは授業の内容がよくわかります。



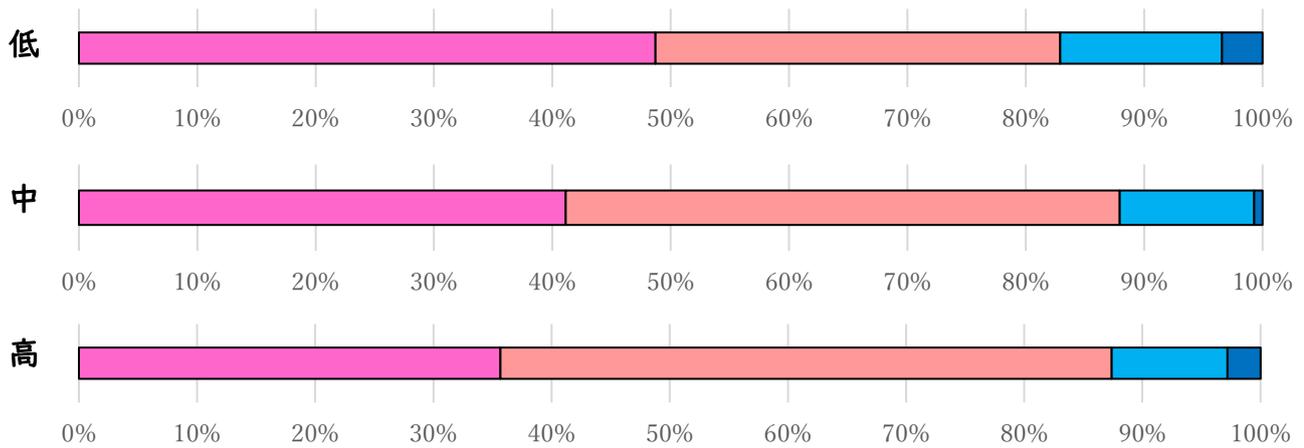
② タブレットを使うことで学習を広げたり深まったりすることができるようになったと思います。



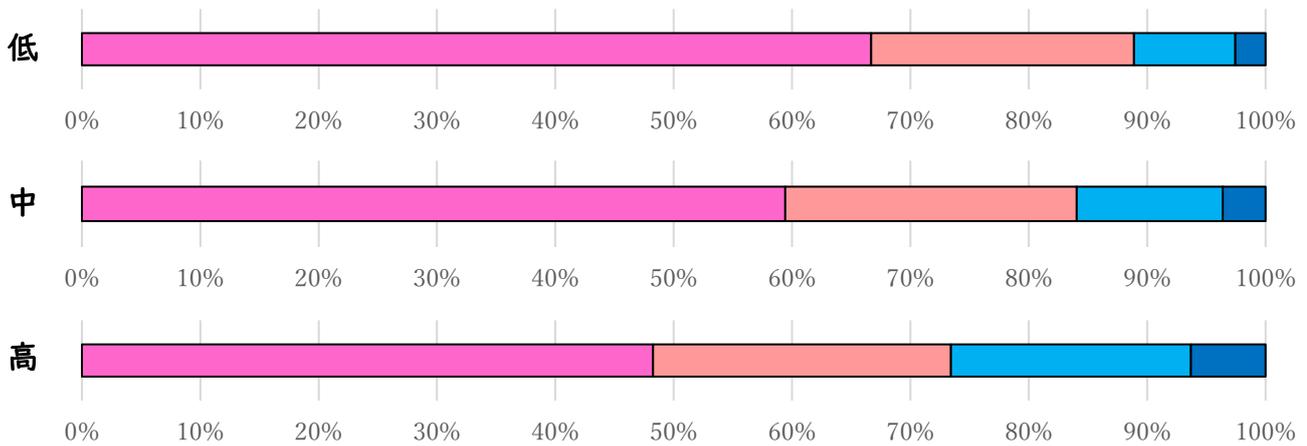
③ 学年や専科の先生が教科を分担する学びのスタイルは、多くの先生と接するよい機会となっています。



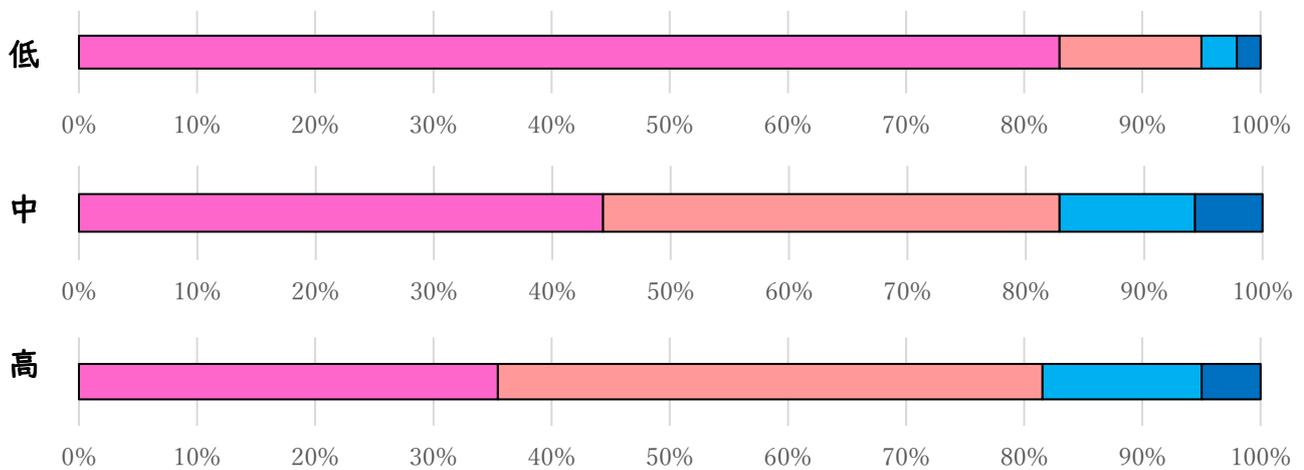
④ わたしは、人の気持ちを考えて行動しています。



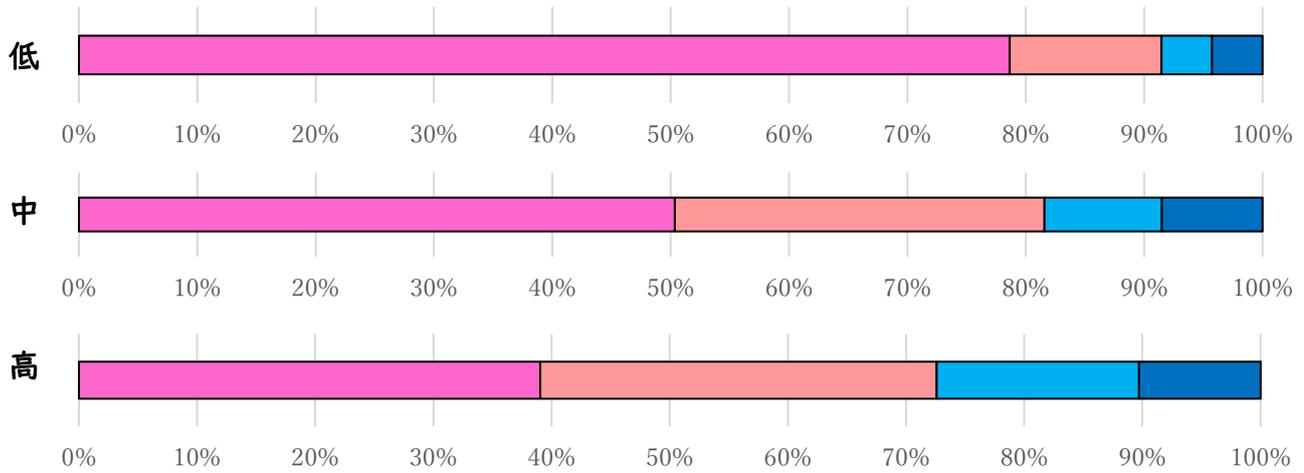
⑤ わたしは、ストレッチをしたり、自分に合った運動をしたりして体力をつけています。



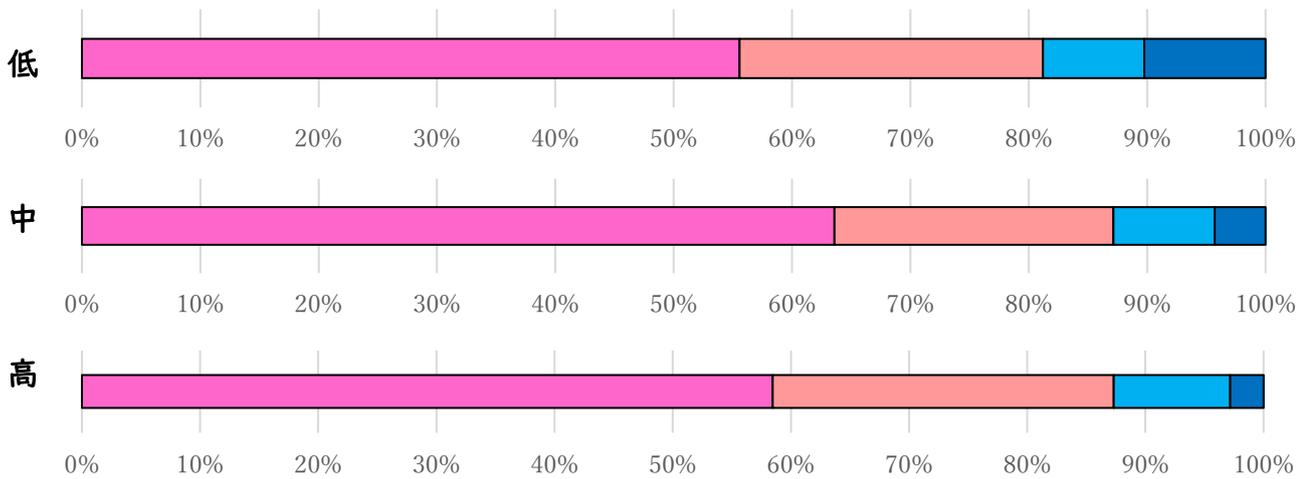
⑥ わたしは学習したことをSDGsにつなげて環境のためにできることをやろうとしています。



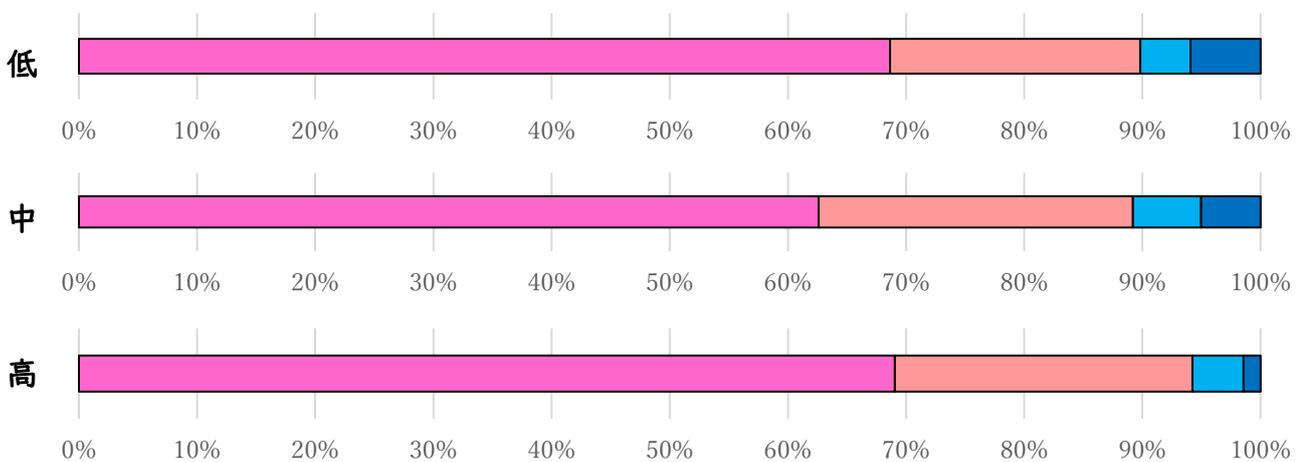
⑦ わたしは、自分が大切な存在だと思います。



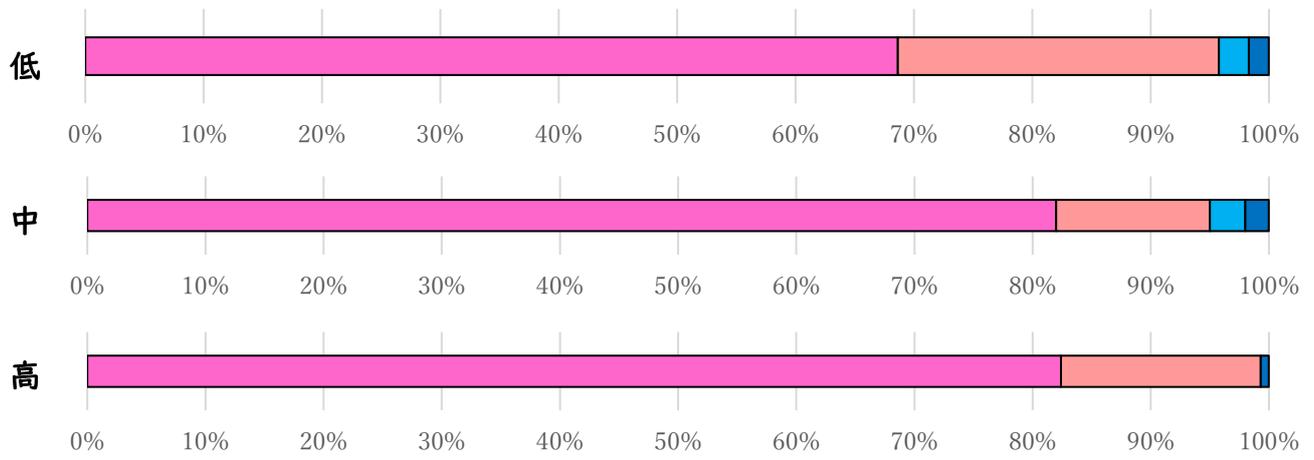
⑧ わたしはクラスの中で安心して過ごしています。



⑨ 先生たちは、困っているときにわたしの話や悩みを聞いてくれます。



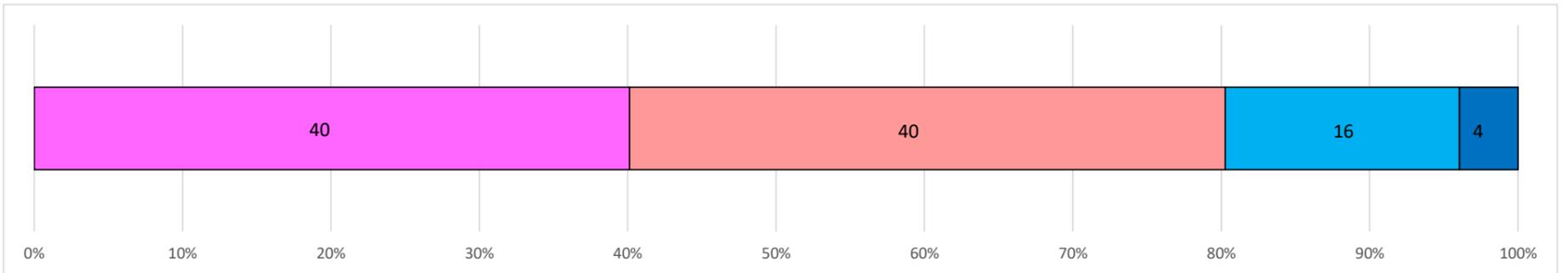
⑩ わたしは、家事やじしん、部外者が入ってきたときの避難の仕方がわかっています。



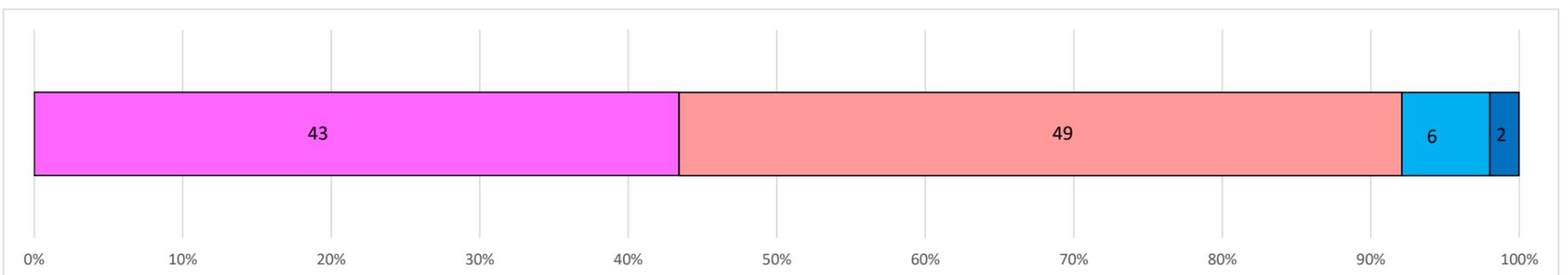
# 学校づくりに関する保護者アンケートについて（結果報告）

■ 思う    ■ やや思う    ■ あまり思わない    ■ 思わない

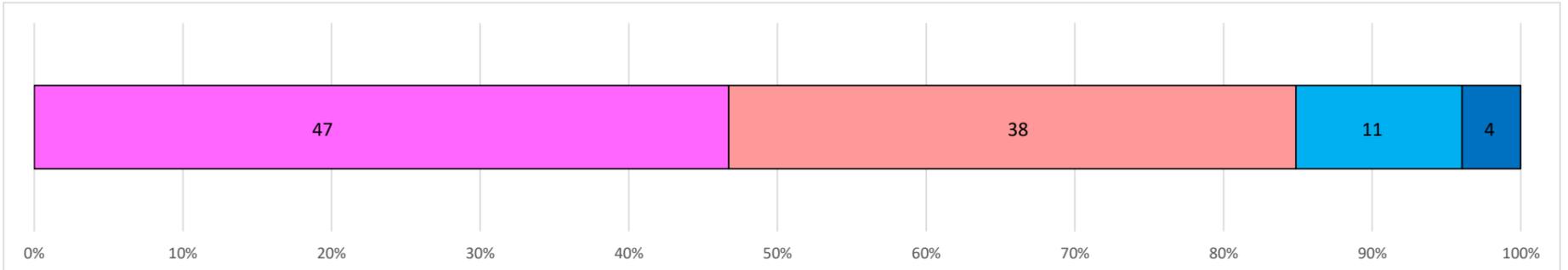
① お子さんは、授業が分かり、進んで学習に取り組んでいると思いますか。



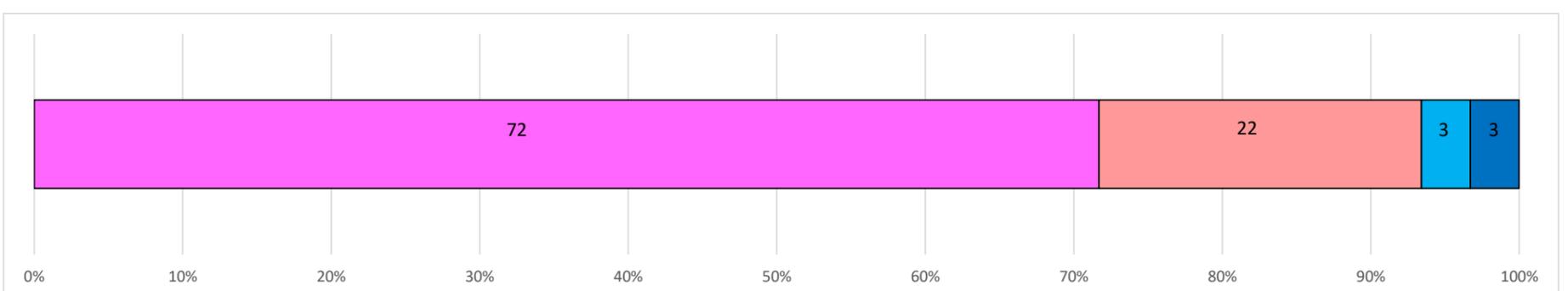
② お子さんは、思いやりの心をもって人に接することができていると思いますか。



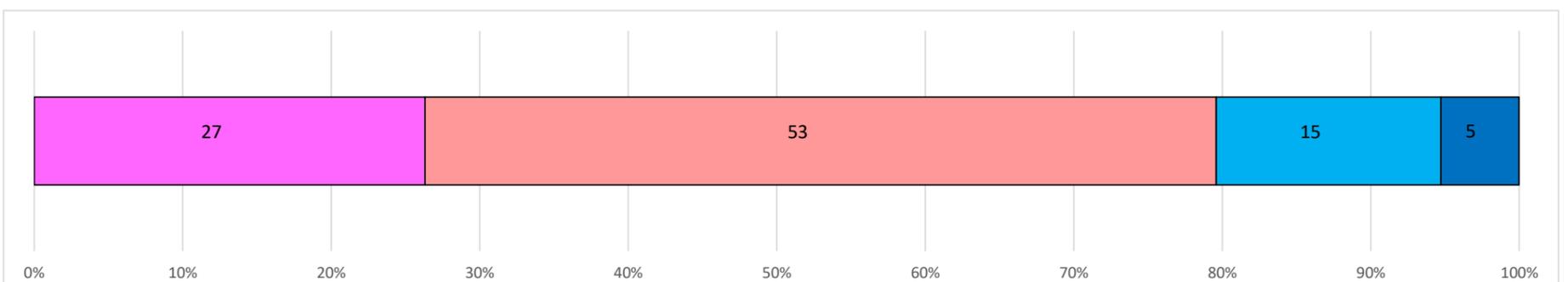
③ お子さんは、運動に親しんだり自分に合った運動で体力づくりをしたりすることができていると思いますか。



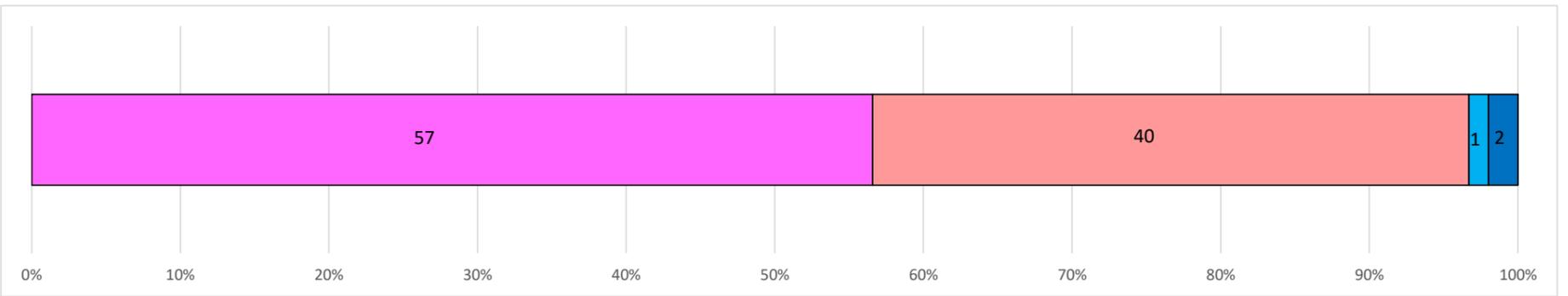
④ 学校は、環境に配慮し、ペーパーレス化などの取組を推進していると思いますか。



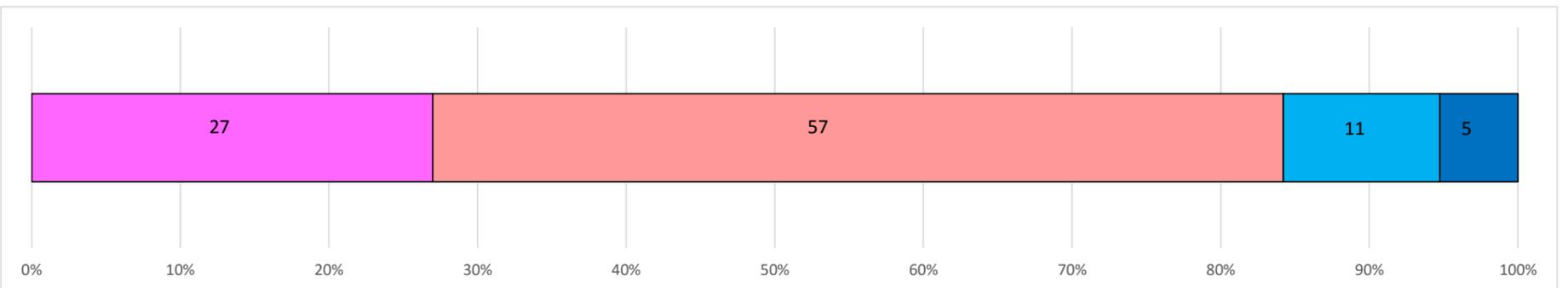
⑤ 学校は、いじめに対する取組を推進していると思いますか。



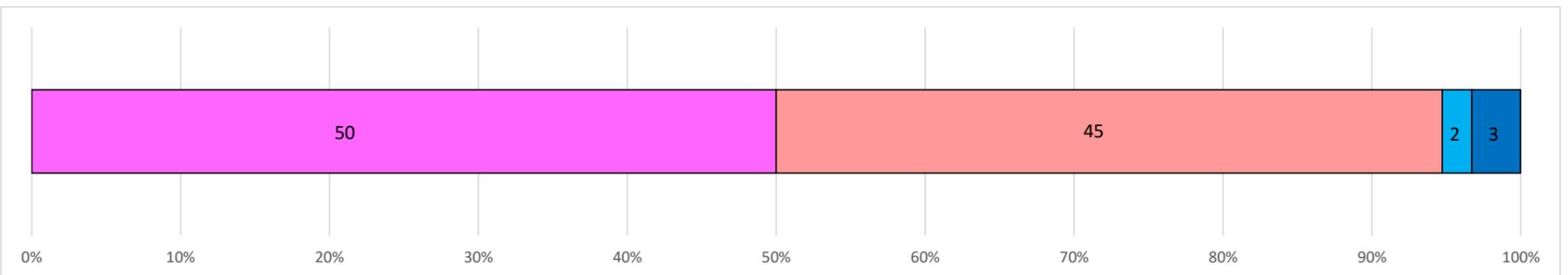
⑥ 学校は、地域と連携し、児童の健全育成に努めていると思いますか。



⑦ 学校は、一人ひとりの子どもの思いに寄り添い、学びの場を工夫していると思いますか。



⑧ 学校は、安全への取組に努めていると思いますか。

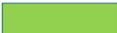
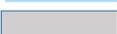


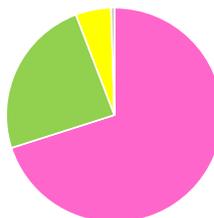
### 【評価結果を振り返って】

- ・メール配信の活用により、ペーパーレス化を促進してきました。情報を保護者の皆様に直接伝えられることや、時間的にもリアルタイムで伝えられることなど、様々な利点を考え今後も継続していきます。
- ・アフターコロナの中で、学校行事、PTA行事、地域行事が再開されてきました。学校ホームページや掲示板などを通して情報発信を行い、学校、家庭、地域との連携をこれからも大切にしていきます。
- ・避難訓練や登校班指導などを通して、防災や防犯に重点を置いた指導を行ってきました。今後は、地域との連携を更に強め、地域を含めた様々なネットワークの中で子どもを守る環境を構築していきたいと思います。
- ・たてわり活動や道徳の授業、あいさつ活動などを通して、相手意識を高めたり表現活動を充実させたりしながら、様々な場面で他者とのかかわりをこれからも大切にしていきます。
- ・新学習指導要領が目指す「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実させることで、児童一人ひとりの学力向上に繋げていきます。そのために、少人数指導や教科分担指導、ICT機器の利活用などを通して授業改善を引き続き行っていきます。
- ・学校は、いじめに関するアンケートやYPアセスメントシート、日常の様子などをもとに、児童の心身の状況について常に確認しています。早期発見、早期解決は勿論、未然防止に努めることを大切にしていきたいと思います。
- ・多様性を大切にする教育活動の中で、特別支援は更なる充実を図っていききたいと考えています。リモートでの支援、保健室やスタジオを活用した支援、教室環境整備（ユニバーサルデザイン）など、多様な学びの場を整えていきます。

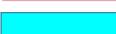
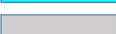
## 令和5年度 運動会アンケート集計結果

1.子どもたちは、生き生きとした表情で運動を楽しんでいる。

	とてもそう思う	145
	そう思う	50
	思う	11
	あまり思わない	0
	思わない	1



2.子どもたちは、心を一つに演技を行い、その姿から集団の高まりを感じられる。

	とてもそう思う	135
	そう思う	54
	思う	14
	あまり思わない	3
	思わない	1



3.本日の子どもたちの様子についてご感想があればお聞かせください。

しっかり演技を覚えていて、とても楽しそうに踊っており成長を感じました。

たくさん練習したんだなと思い、子どもたちの頑張っている姿に感動しました。全学年の参観ができて良かったです。

非常にのびのびと演技などしていたなと感じています。来年度以降も午前中だけの運動会を希望します。

とても楽しんでお祭りみたいで良かったです。

勝敗がかかっても応援が盛り上がっていて、子ども達が仲間を思う気持ちが感じられました。

緊張しながら最後まで一生懸命走ったり演技をし頑張っている様子を見ることができました。プログラムどおり、とてもスムーズに進んでいて児童の皆さんも、きちんと行動できていて素晴らしいと思いました。

ずっと練習してきたことを全力で披露しようと一生懸命な姿を見られて良かったです。ほかの学年が演技している時にもちゃんと応援してくれているのが印象的でした。

わが子も含め、みんな笑顔で踊っていて、子供たち自身が楽しめている様子が見て取れました。

初めての6年まで合同の運動会、子供たちもとてもたのしかったようで、ありがとうございます。高学年リレーも見っていてとても盛り上がりました！

### アンケートを振り返って

令和2年度の新学習指導要領の改訂では、体育的な活動において教師が主導的に演技等を教えるのではなく、限られた時間数の中で工夫し、児童が主体的・対話的に皆で考えながら創り上げていく考え方が示されました。奇しくも改訂のスタートがコロナ禍と重なりましたが、アフターコロナにおいてもその考え方は変わりません。

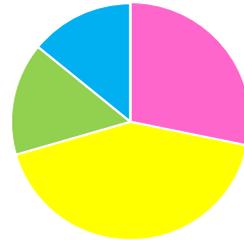
そこで山田小学校では、限られた授業時間数の中で運動会に向けた活動を検討し、種目や開催方法を計画しています。演技、競技内容は体育の授業の延長ですので、カリキュラムに沿った内容にし、運動会の時期でも他教科の学習も大切にしながら取り組んでいます。また、今年度は、学級減で教員数が減ったことにより、高学年の係活動の回数や内容を見直し、運動会の午前開催を基本にした上で種目の検討等を行いました。また、近年猛暑が続く、熱中症対策の徹底が求められる中、教室や体育館等、活動場所を工夫しながら、校庭での活動を短縮して行っています。全校による運動会の全体練習も30分間のみで行いました。

今後もこの傾向は続くと考えます。児童の健康管理や教育課程の精選、教員数や児童数の増減等を考慮し、安全で充実した運動会の計画を進めてまいります。今年度、子どもたちは大変満足して運動会を終えることができました。たくさんの方々のご協力とご支援、温かいメッセージに感謝致します。ありがとうございます。

# 令和5年度 12月土曜参観（授業参観）アンケート集計結果

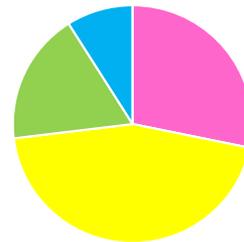
## 1.子どもたちは、学習に楽しみながら取り組んでいる。

	とてもそう思う	22
	そう思う	33
	思う	12
	あまり思わない	11
	思わない	0



## 2.子どもたちは、学習課題を理解し、意欲的に考えている。

	とてもそう思う	22
	そう思う	35
	思う	14
	あまり思わない	7
	思わない	0



## 3.子どもたちの活躍、姿勢、表情など、本日の子どもたちの教育活動の様子についてご感想があればお聞かせください。（抜粋）

みんなが意欲的に手を挙げて発言していて、とても感心しました。授業が始まる前にみんなで姿勢を正していたのが良かったと思います。

少人数で先生目が行き届いており、算数の解き方も1つではないことを子どもたちもよく理解しているように感じました。それぞれのやり方や自分自身のやり方を比較して学べていたように思います。

事前準備から気合が入っており、発表している姿に成長を感じました。自分で調べて発表するという、主体性を持った学びを経験できていることに、嬉しく思いました。

説教的に発言する子が多く、活気のある雰囲気とても良かったです。みんなの頑張りが伝わってきました。

積極的に手を挙げて発言したり授業に集中している姿が見れました。

質問に対して挙手する子が多く、前向きな姿勢が見られた。平等に発言の機会を作ってくださいの配慮も感じる。学習の進度は個人差があるが、早めに課題を終えた子が時間を持て余している様子が気になった。

先生がにこやかに子どもたちの意見に耳を傾けてくださるので、子どもたちも意見が言いやすいようで、たくさん発表していました。ありがとうございました。

社会で自分達が調べてきた事を発表していました。調べた内容を、聞き取りやすいスピード、話し方、声の大きさ、資料の見せ方など色々工夫していて、さすが6年生だと思いました。こちらも聞いていて楽しかったです！

意見を言い合いながらお互いの意見を聞いて結果をまとめていくという授業方式にも子どもたちは積極的に発言して考えていた姿勢が素晴らしいなと感じました。

自分の小学生時代には活発に議論する場はなかったような気がします。積極的に発言し、他人の意見に同調したり質問したり、今後の社会生活において必要なことを学べる授業とても素晴らしいと感じました。

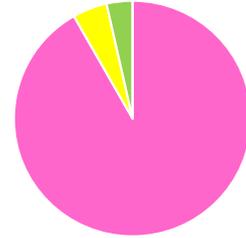
先生がにこやかに子どもたちの意見に耳を傾けてくださるので、子どもたちも意見が言いやすいようで、たくさん発表していました。ありがとうございました。

社会で自分達が調べてきた事を発表していました。調べた内容を、聞き取りやすいスピード、話し方、声の大きさ、資料の見せ方など色々工夫していて、さすが6年生だと思いました。こちらも聞いていて楽しかったです！

# 令和5年度 土曜参観（レインボーコンサート）アンケート集計結果

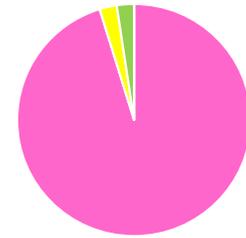
## 1.子どもたちは、生き生きとした表情で音楽を楽しんでいる。

	とてもそう思う	78
	そう思う	26
	思う	4
	あまり思わない	3
	思わない	0



## 2.子どもたちは、心を一つに音楽を表現し、その姿から集団の高まりが感じられる。

	とてもそう思う	80
	そう思う	27
	思う	2
	あまり思わない	2
	思わない	0



## 3.子どもたちの活躍、姿勢、表情など、本日の子どもたちの教育活動の様子についてご感想があればお聞かせください。（抜粋）

- それぞれの役割を一生懸命やろうとしている姿が見られました。特に歌は皆が大きな口を開けて歌えていたと思います。
- 子どもたちが一生懸命練習を重ねてきたことが、子どもたちの緊張感の中にも自信のある表情と歌声、演奏から感じることができました。
- 子どもたちが一生懸命奏でる音色にとても感動いたしました。特に歌声には涙が出るほど感動いたしました。素敵な音楽会を見る事ができてとても嬉しかったです。ありがとうございました。
- みんなが頑張って練習した姿が想像できて、練習の成果が発揮できていたことに感動しました。
- はじめは緊張していた様子ですが、演奏がはじまるにつれ、緊張もほぐれ楽しそうに演奏している姿を見て、こちらも元気をもらえました。選曲も良く、3曲共、素敵に演奏されていました。とても素晴らしかったです。
- この子達にとっては、大人数の前で発表をするのはきっと初めてに近いことだったと思いますが、みんな自信を持って取り組んでいた姿をみれ感動しました。素敵な機会をありがとうございました！
- 合唱も合奏もとても感動しました。良いものを届けようという感じが伝わってきました。まだ可愛い部分もありますが、4年生にもなると、本番ではキリッとした表情で素敵でした！
- 元気いっぱい一生懸命、発表しており、生き生きとした様子を見られて嬉しい時間でした。大勢の前で発表するという貴重な経験をさせて頂き、感謝の気持ちで一杯です。
- 子供達が楽しくやれていたのが凄く心に響きました！見てる側も、それにつられ凄く楽しかったです！また見たいと思いました。
- とても一生懸命取り組んでいて家でもよく話していました。ネタバレしないように話すのも4年生になったからだなあと成長を感じましたし、本番は感動でいっぱいでした。
- みんなが真剣に取り組んでいる事がとてもよくわかりました。素敵な時間をありがとうございました。
- 低学年は可愛らしく、高学年は素敵な、演奏を聴けました。今後も子供たちの活躍を、間近で見聞きたいです。ありがとうございました。
- とてもイキイキとした表情に感動しました。4年生は特に完成度が高かったことに驚きました。先生が一番嬉しそうだったのが印象的でした。素晴らしい先生方で、すべての教職員に感謝申し上げます。



# 学校だより

11月号 第442号

教育目標：自分が好き 友だちが好き まちが好き 進んで学ぶ 山田の子  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

## 「そろえること」と「自分らしい表現」

校長 藤原 明美

10月になっても記録的な暑さが続きましたが、やっと秋の気配を感じる気候になってきました。ハナミズキの葉が赤く染まり始め、何をするにも心地よい秋。本校では、6年の日光修学旅行、5年の三浦宿泊体験学習等の各学年の校外学習、そして全校で取り組む運動会と盛りだくさんでした。

この4月から折に触れ、子どもたちに「考える」「創る」「自分らしく表現する」よさについて話をしてきました。また、日々の授業、校外学習、学校行事等の様々な教育活動の中に、子どもたちの思いを引き出し、思考・表現する場面を意図的に取り入れてきました。

10月14日、山田小学校の運動会を開催しました。運動会というと、整然とそろったダイナミックな動き・演技も醍醐味です。二人組で、グループで、チームで、そして学年みんなで、話し合いを深めながら、それぞれの動きを、そして心を合わせていくこと。ピタッとそろった時のあの喜びと感動は、ひとりで創ることはできませんし、その心地よさも味わえません。創っていくその過程で、連帯意識、仲間意識が生まれるからこそ、感じるのです。ピタッとそろえることができた一体感は、その光景を見ている私たちにも感動を与えてくれます。

運動会では、「そろえること」を意識した上で、「自分らしい表現」も大切にしてきました。それぞれの学年演技の中でも、自分らしさは何か、自分は何を表現したいのか、を考え取り入れました。例えば、縄跳びに、体操に取り組みながら、はじめの頃できなかったことが、自分の技としてできるようになる。その過程のひとつひとつがかけがえのない瞬間になる。学びの過程は決して一律ではありません。運動会に向けた一連の学習活動の中で、努力してできるようになったこと、もっと難易度の高い技に挑戦・チャレンジしてみたいこと、指先にまでこだわりたい細やかな動きは、一人ひとり違います。そんな一人ひとりの思いを引き出し、自分で決めた技、自分なりの表現をする場面を盛り込みながら創ってきました。

学年の発達段階に応じて、子どもたちが創造性を発揮した部分はそれぞれ違います。自分の「決めポーズ」を個々が考えたり、対話を重ねながらグループや列ごとに独自の動きを練り上げたりして、入場から演技、そして退場までの8分間のパフォーマンスを創り上げました。

「そろえること」と「自分らしい表現」は一見相反することのように感じますが、これからの教育は、協調性と独創性の融合が求められています。そろっている場面があるからこそ、自分らしさが際立ちます。

現在の学習指導要領のいう「主体的な学び」は、対話をしながら創ること、自分らしく表現することから始まると考えます。学年演技にも、開会式・閉会式などのセレモニーにおける進行・挨拶の中にも、そして山田ストレッチや応援団のパフォーマンスにも、創造的な子どもたちの思いが感じられました。正に、子どもたちが創った運動会になったと感じています。

結びになりますが、朝早くから、熱いご声援をいただきました保護者・地域の皆様、ご理解とご支援を頂きました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。



# 学校だより

12月号 第443号

教育目標：自分が好き 友だちが好き まちが好き 進んで学ぶ 山田の子  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

## 「見守る」ということ

校長 藤原 明美

この前までの暖かさを忘れてしまう程、急に寒さが強くなりました。街路樹が赤やオレンジに染まり、山田小のモミジもイチョウの葉も鮮やかに色づいています。秋が深まり、家で育てているレモンの実が黄色に熟す頃になると、いつも思い出すエピソードがあります。

私が担任をしていた、ある3年生の教室でのことです。レモンの木にいた5匹のアゲハチョウの幼虫を、教室で育てていました。幼虫たちの変化を、子どもたちは毎日、驚きと愛おしい思いで見せていました。順調に成長し5匹ともさなぎになりましたが、その中でひとつだけ、飼育箱の底の近く、レモンの枝の下の位置でさなぎになっていました。他のさなぎの位置関係もあって、枝を動かすこともできずにいました。子どもたちが心配していた通り、そのさなぎは、十分な隙間がなく、羽を上手に開くことができずにもがいていました。子どもたちが口々に言いました。「助けて」「じゃまなものを取ってあげたい」「皮を外してあげたい」……。その時、クラスの虫はかせが発した言葉が、みんなの方向を決めました。「羽化するとき、鱗粉にヒトの手が付くと、うまく飛べなくなる。自然は、もっと厳しいから。」最終的には「見守ろう」という意見でまとまりました。

子どもたちの成長にも「見守る」ことが大切だと感じます。学校は小さな社会ですから、思うとおりにいなくて、悲しい思い、悔しい思いをすることもあります。友達と意見が合わなくて、けんかになってしまうこともあるかもしれません。そんな時、その困難を、教師が、親が、すべて取り除いてあげてしまったら、痛みや辛さに触れずに、その乗り越え方を学ばずに通り過ぎてしまうかもしれません。二人の娘が小・中学生の頃、私自身も母親として「見守る」ことの尊さと難しさを感じていました。この子に乗り越えられる試練ならば、どうか自分で解決する術を身に付けてほしい。そして、大人になってもっと大きな試練に直面しても、自ら解決できたという自信と、乗り越えてきた経験を胸に、生き抜いてほしい。そう願うことが「見守る」ことだと、親である自分に言い聞かせていました。娘が大人と呼ばれる日が来ても、自力で乗り越えていく姿を傍らで「見守り」ながら、私自身も親として成長していきたいと思っています。

しかし、子ども一人ひとり、年齢や性格、個性も違います。乗り越えられる困難かどうか、また同じ子でも、その時の心持ちによっても違います。その子に合わせた支援や声かけが必要なこともあるでしょう。「今、必要な支援は何か」を見極めるには、やはりその子に寄り添い「見守る」姿勢が大切だと考えます。ただ、大人がいつまでも手を引いて、安全な道だけを歩くことはできません。学校・保護者・地域で心を合わせ、子どもたちが、自分で自分の「身を護る」ことができる子に育てていきたいと思っています。

冒頭のアゲハチョウは、子どもたちに見守られながら、自分の力で羽を広げ、自然のなかに立派に飛んでいきました。この時の子どもたちは、実際に手助けをするのではなく、アゲハチョウに思いを寄せ、まさに「見守っていた」と感じています。

自信は、自分で乗り越え、つかみ取る以外に得られない。他から与えることができない。これからも、子どもたちの成長を「見守り」続けていきたいと思っています。



# 学校だより

1月号 第444号

教育目標：自分が好き 友だちが好き まちが好き 進んで学ぶ 山田の子  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

## 残したい風景 ～令和6年のはじまりに添えて～

校長 藤原 明美

新しい年が始まりました。皆様はどのような新年を迎えられましたでしょうか。

横浜は初日の出が美しい穏やかなお正月を迎えましたが、大規模な地震で今なお厳しい状況にある地域、世界では争いが続く地域もあり、連日の報道に触れる度、胸が張り裂けるような苦しさを感じます。一日も早く平穏な日々を取り戻せるよう祈るとともに、改めて、何気ない日常の幸せの尊さを思い、感謝し、平和で安全な日々が過ごせるようにと思いを馳せました。

子どもだった私の、故郷のお正月の風景について、少しお話させてください。

普段の賑やかな街並みが一変し、街から灯りや喧騒が消え、厳かな空気に包まれるのがお正月の風景でした。開いている店は一つもありません。子ども心にも、お正月を迎えるには、様々な用意や片付け、心の準備が必要だと感じたものです。クリスマスを過ぎると、慌ただしくお正月を迎える準備に入ります。お雑煮、おしるこ、おせち料理・・・私は人参や大根などの野菜の千切りをし、するめを軽くあぶって細く切り、なますや松前漬けをたくさん作りました。父や母の仕事を分担し、大掃除や障子の張り替えも大仕事でした。

しかしそういう私も、今、便利さを享受させてもらっています。ここ数年、働き方改革関連法の推進による「2024年問題」が話題になっていますが、いつの間にか、元旦も、24時間、店が開いていること、頼んだものがすぐに配達されることに慣れていました。社会のニーズに合わせて、需要があれば、と便利さを追求してきたその方向性は、時代の要請だったのだと思います。

その反面で、いつの間にか、失った感覚、風景があると気付きました。

開店するためには、当然ですが、そこに働く人がいます。それを「仕事だから当たり前」と思うのか「開けてくれてありがとう」と感じるのか。後者でありたいと願います。日本において昔から受け継がれてきた、相手を思いやる心、美德。私は、今こそ、子どもたちに、そんな感謝の心を伝え、残していけたらと思っています。

時代の流れで多様な価値観があります。しかし、次代へ残したい大切なものは、進歩や発展を後退させるものではなく、共存できるものと考えます。古き良きものの価値を再認識すると同時に、当たり前と思い始めたものへの感謝の気持ちを忘れないことが大切だと思います。「ありがとう」は「有り難う」と書きます。有ることが難しいものと感謝して自分のまわりを見渡せば、同じ行為であっても、温かな違った風景に見えてきます。

私の二人の娘は、大晦日に年越し蕎麦を作って食べないと年が越せないと言います。お詣りをして、空を見上げ、今の幸せに感謝すること。書き初めをし、仮巻きに掲げること。それは娘達にとって、成長して何十年経っても、残したい風景なのでしょう。小さい頃の記憶は、時を経ても鮮明です。令和になっても、社会が変わっても、それぞれのご家庭で、伝えたい思い、残したい風景は何でしょうか。新年を迎えた今、どうぞ、ご一考ください。

さて、2024年、令和6年のスタートです。これから学校では、それぞれの進級に向けて、準備を始めてまいります。本年も山田小学校の教育活動に変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



# 学校だより

2月号 第445号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

## 52年目の記念日

副校長 間杉 誠

日差しに温かさを感じるようになってきました。校庭を見下ろす梅の木が、つぼみを大きく膨らませて咲き始めています。「梅は咲いたか桜はまだかいな(明治5年に流行した俗曲)」にもあるように、梅の開花は桜の訪れを想起させてくれます。桜の花が咲き始める頃、卒業生76名が旅立ちの日を迎えます。



職員室前で見頃を迎えています!



開校当時の航空写真です!

さて、1月29日(月)に「開校記念式」を行いました。「山田小学校の歴史」「地域のよさ」を3年生が発表したり、「山田小学校バースデーソング」を全校で歌ったりしながら52年目のお祝いを楽しみました。本校は、昭和45年4月に中川小学校から中川小学校東山田分校として今の場所に開設されたのが始まりで、翌年の昭和46年4月1日に山田小学校として独立開校しています。今日に至るまで、山田小学校は地域の皆様、保護者の皆様に愛され、温かく見守っていただきながら成長を続けてきました。

開校当時は、「周りに家は少なくマンションはなかったこと」「コンフォールの辺りはキャベツ畑が広がりモンシロチョウが飛び交っていたこと」「正門の先には谷がありクワガタやサワガニがいたこと」等々、資料を読み返すと山田小学校は自然に囲まれた穏やかな環境の中で開校を迎えたことが分かります。学区も広く、昭和50年には最大の児童数1230人(学級数30)となりました。昭和50年9月にすみれが丘小学校、平成13年に東山田小学校が開校し、山田小学校区に2つの小学校ができたことで、児童数クラス数ともに落ち着いていきました。

地域にお住いの卒業生の方とお話をさせていただくと、いつも当時の様子(裏道のこと、文房具屋さんのこと、等々)を楽しそうに教えてくださいます。本校が地域に根付いていること、愛されていることを感じます。

アフターコロナとなり、学校行事、地域行事、PTA行事が一部カタチを変えながらではありますが徐々に戻ってきました。これからも、地域の皆様・保護者の皆様の温かさに包まれながら、山田小学校は歴史を刻んでいきます。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



開校当初は、工事が続いていたようです!

令和6年度から、1コマ40分・午前中5コマの日課表に改定します

- 集中力の持続する午前中に、5コマ学習することができます。
- コマ数を多くとることができ、ゆとりをもって学習内容に取り組むことができます。
- 20分間の学習タイムを設定することで、スキルの向上を図ったり、目標設定、振り返りの時間を確保したりすることができます。
- 教員は、「質の高い学び」に向け、放課後に教材研究の時間をより多くつくることができます。
- 下校時刻が早まっても、文部科学省が示す授業時間数を上回っています。

令和6年度 横浜市立山田小学校 日課表(案)

校時	通常 時程	月	火	水	木	金	午前授業	短縮午前授業		
								給食あり	給食なし	
	8:05	校門解錠 8:05						登校時間 8:05~8:15		
	8:20	朝の会						8:20	朝の会	
1	8:25	1	1	1	1	1	1	8:25	1 1	
	9:05	5分休憩						9:05	準備・移動	
2	9:10	2	2	2	2	2	2	9:10	2 2	
	9:50	5分休憩						9:40	準備・移動	
3	9:55	3	3	3	3	3	3	9:55	3 3	
	10:35	中休み						10:35	中休み	
	10:35	移動・準備						10:45		
4	10:55	4	4	4	4	4	4	10:45	4 4	
	11:35	5分休憩						11:25	準備・移動	
5	11:40	5	5	5	5	5	5	11:30	学習タイム	
	12:20	給食						11:50	帰りの会	
	12:20	清掃						12:00	給食	
	13:10	清掃						12:25	帰りの会	
	13:25	朝会・集会 学習タイム	学習タイム	学習タイム	学習タイム	学習タイム	帰りの会	12:50	12:25下校	
6	13:45	帰りの会 14:00下校	帰りの会 14:00下校	帰りの会 14:00下校	帰りの会 14:00下校	帰りの会 14:00下校	帰りの会 13:40下校	6	6	
	14:25	1~3年 (前期)	1年.2年	1~6年	1~2年	1~3年	14:25	6	6	
	14:25	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	14:25	委員会	クラブ	
	14:40	1~2年 (後期)	3~6年	3~6年	3~6年	1~3年	14:40	6	6	
	14:40	4~6年 (前期)	3~6年	3~6年	3~6年	14:35	14:35	14:40下校		
	14:40	3~6年 (後期)	3~6年	3~6年	3~6年	14:35	14:35	4~6年 5.6年		

月曜日  
3年生は  
前期5時間授業  
後期6時間授業